取扱説明書

蓄電システム
ESS-U1N2/ESS-U1N3
蓄電システム（増設システム）
ESS-UA1N2/ESS-UA1N3
室内リモコン
ESS-R1N2

このたびは、蓄電システム ESS-U1N2/ESS-U1N3 または ESS-UA1N2/ESS-UA1N3 および室内リモコン ESS-R1N2 をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。
※この取扱説明書は蓄電システム ESS-U1N2/ESS-U1N3、増設システム ESS-UA1N2/ESS-UA1N3 兼用のため、代表例として ESS-U1N2 のイラストを記載している箇所があります。

目次

安全のために必ずお守りください……4
取扱上のお願い……7
もしもの「安心」、いつもの「節電」……8

室内リモコン各部の名前とはたらき……11
　室内リモコンの本体について……11
　室内リモコンの表示について……12
通常時の使い方（連系運転）……13
停電時の使い方（自立運転）……14
　停電時の家電製品の利用について……14
復電時の操作……15

運転モードを選ぶ……16
非常時（停電時）の設定をする……18
　非常運転モードについて……19
充放電時間を設定する……20
室内リモコンのタッチパネルや操作音の設定を変える……21
ネットワークの設定をする……22
日時の設定……25

こんなときは……26
　ブザーが鳴ったとき……26
　機器から発生する音について……26
　アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合……26
　アンペアブレーカの容量を変更する場合……26
　蓄電システムが停止した（停止させる）場合……26
　長期不在の場合……27
　風水害または地震時の対応……27
　室内リモコンの画面が表示されない場合……28
　停電時に蓄電池残量がない場合……28
エラーメッセージが表示されたとき……29
室内リモコンのリセット……31
　蓄電池のメンテナンスモードについて……31
点検とお手入れ……32
補助金に関するご注意……32
保証とアフターサービス……33
　保証について……33
　アフターサービスについて……33
仕様……34
外形寸法……35

安全のために必ずお守りください

■ **ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

■ **蓄電池の種類により取り扱い、異常時の対処が異なることがありますので、蓄電システムに使用されている蓄電池の種類を確認してください。34 ページの仕様に記載されています。**

■ **ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ **お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。**

ここに示した事項は、⚠**警告** ⚠**注意**に区分しています。

⚠ **警告**	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
⚠ **注意**	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	＊必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		**＊感電注意** 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	＊一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		**＊分解禁止** 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	＊一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

⚠警告

共 通

■取付工事・修理・移動・再設置・破棄はサービスセンターに依頼する
●不備があった場合、感電や火災の恐れがあります。

■分解・改造をしない
●感電や傷害を負う恐れがあります。

■非常時兼用コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない
●夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止し、家電製品の電源が切れます。パソコンなどのデータが破損する恐れがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器には絶対に使用しないでください。

■非常時兼用コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない
●火災・感電・故障の原因となります。

■子供だけでは使わせない
●感電・やけど・火災の恐れがあります。

蓄電システム

■カバーを開けない
●内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。

■蹴ったりして強い衝撃を与えない
●変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災の恐れがあります。

■上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を載せない
●装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。

■可燃性ガスや引火物を近くに置かない（60cm 以内）
●電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する恐れがあります。

■蓄電システムの上に物を置かない
●装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。

■吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差しこんだり中に入れたりしない
●火災・感電・故障の原因となります。

■電気が蓄えられているので、注意する
●屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負う恐れがあります。十分注意してください。

■煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、すぐに屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする
●そのまま使用すると、火災の原因となります。サービスセンターにご連絡ください。

⚠注意

共 通		
■非常運転モードでは、負荷によって使用できないものがある ●ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。	**■ぬれた手でふれたり、ぬれた布でふかない** ●感電の原因となることがあります。	**■長期間「強制放電」、「待機モード」に設定しない** ●蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。

蓄電システム		
■アース工事を行う（D 種接地工事） ●アースが不完全な場合、感電の恐れがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事は、必ずサービスセンタに依頼してください。	**■近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない** ●引火し、やけど・火災の原因となることがあります。	

取扱上のお願い

共 通

■次のような場所には取り付けない

蓄電システム

- □標高 1500m より高いところ
- □岩礁隣接地域
- □重塩害地域
- □揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- □振動、衝撃の影響が大きいところ
- □油蒸気のあるところ
- □浸水の恐れがあるところ
- □電界の影響が大きいところ
- □風通しが悪いところ
- □販売会社で決められていないところ
- □結露および氷結のあるところ

※次の温度範囲以外のところでは、動作を停止します
温度：－ 10℃～＋ 40℃

室内リモコン

- □屋外
- □温度変化が激しいところ
- □揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- □振動、衝撃の影響が大きいところ
- □水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- □電界の影響が大きいところ
- □直射日光が当たるところ
- □次の温度範囲以外のところ
  温度：0℃～＋ 40℃

■シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない

●装置の変色の原因となります。

■1 年に一度、フィルターの点検・掃除を行う

●行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。

■取扱説明書を熟読する

●ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。

蓄電システム

■装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない

●テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m 以上離してご使用ください。

●受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける恐れがあります。

■非常時兼用コンセントには AC100V で 最大 15A（1500W）未満の機器を接続する

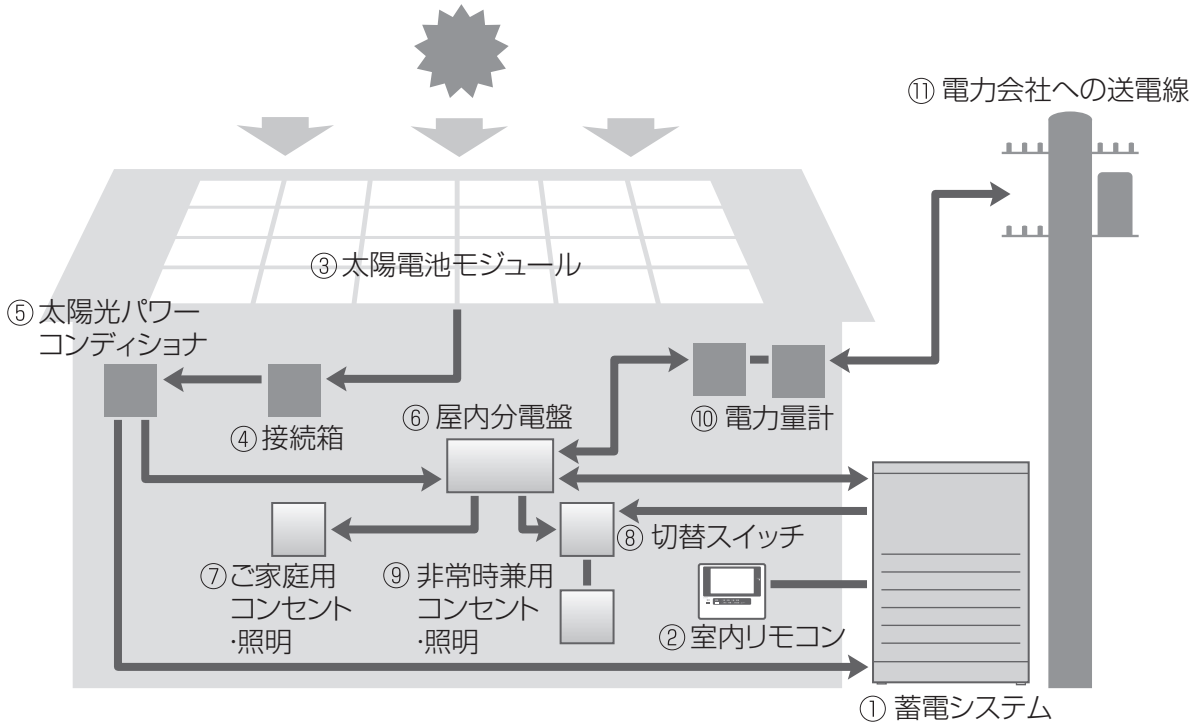
●機器の故障の原因となることがあります。

■廃棄処理・リサイクルについて

●廃棄する場合は、サービスセンターにお問い合わせください。

もしもの「安心」、いつもの「節電」

本製品は、住宅の屋根などに設置した太陽光発電と蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「蓄電システム」です。



① 蓄電システム
リチウムイオン電池、蓄電パワーコンディショナで構成され、太陽光発電または系統の電力を蓄えます。
必要に応じて蓄えた電力を放電します。

② 室内リモコン
表示画面を備えた操作パネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

③ 太陽電池モジュール
太陽光を受けて発電します。

④ 接続箱
太陽電池モジュールからのケーブルを太陽光パワーコンディショナに接続します。

⑤ 太陽光パワーコンディショナ
太陽電池モジュールが発電した電力（直流）を、ご家庭で使える電力（交流）に変換します。
また、太陽光発電システム全体の運転を制御します。

⑥ 屋内分電盤
漏電ブレーカと太陽光発電用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを内蔵しています。

⑦ ご家庭用コンセント・照明

⑧ 切替スイッチ
蓄電システムの故障時には、屋内分電盤内または横の切替スイッチを「系統」側にします。

⑨ 非常時兼用コンセント・照明
通常時および停電時に利用したい機器を接続して使用します。

⑩ 電力量計
売電用と買電用の２種類があり、電力会社に売った余剰電力（売電）と、買った電力（買電）を計量します。

⑪ 電力会社への送電線
不足電力を電力会社から購入し（買電）、余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

もしもの停電時も「安心」！

もしもの停電時や計画停電に備えて、大容量の蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。蓄電システムからの電力供給は、普段からお使いの非常時兼用コンセントや非常時兼用照明に自動で切り替わるので、突然の停電でもコンセントの差し替えなどは不要です。

- 昼間の晴天時は、太陽光発電と蓄電池を併用して電力を供給します。
- 雨や曇りの日･夜間の停電でも､深夜電力や太陽光発電で充電された蓄電池から電力を供給（放電）します。
- 停電時に冷蔵庫、液晶テレビ、LED 照明、ノートパソコン等必要最低限の家電製品を最大 12 時間（※）動かすことができます。

  ※ 非常時兼用コンセントに約 430 W の家電製品を接続した場合の目安です。実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。

いつもの生活では「節約」！

系統電力と連系して、電気料金の安い深夜電力を蓄電池に充電しておきます。充電しておいた電力は、朝・夕の電力使用ピーク時に効率よく利用できるので、電気料金の節約になります。
日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

- **経済モード：**

  割安な深夜電力で充電、放電を朝・夕の電力使用量ピーク時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。また、太陽光により発電した電力の余剰分はすべて売電します。
  経済性を重視したエコノミー設定です。もし、天気が悪くて太陽光発電が無い場合も、深夜電力を昼間使うことで、昼間の高い電力を買う量が少なくて済みます。
- **グリーンモード：**

  太陽光で発電した電気を全て家庭で使用し、ゼロエミッションにより環境にやさしい住まいを目指すモードです。昼間、太陽光により発電した電力の余剰分はできるだけ蓄電池に充電し、夜の電力使用ピーク時に活用します。自家発電したものを優先的に使用する地産地消モードです。
  環境を重視したエコロジー設定です。

もしもの「安心」、いつもの「節電」つづき

また、本製品は次のような特長により便利に活用できます。

▶ 室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。
室内リモコンの画面で充電電力と放電電力が一目でわかります。タッチパネルを採用しているので、画面を見ながらボタンをタッチするだけで、かんたんに操作できます。非常時は、画面のメッセージで操作をご案内するため、困ったときも安心です。

▶ インターネット接続で見守りサーバーと連携

ニチコン見守りサーバーへ電力使用のデータを転送して、蓄電システムを長期にわたって、より安心してご使用できます。
接続利用する場合は、「ネットワークを設定する」（☞ 22 ページ）をご参照ください。

▶ 大容量のリチウムイオン蓄電池搭載

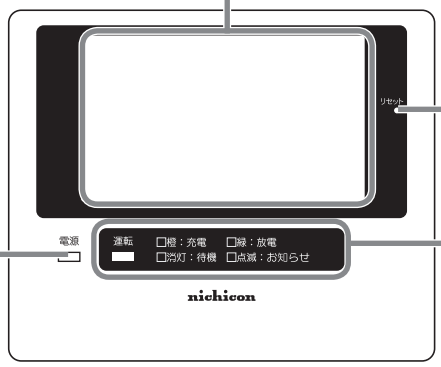
大容量 7.2kWh のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。増設ユニット（別売）付きシステムの場合は、14.4kWh です。
※ 低温時は容量が一時的に減少する場合があります。

▶ 安心の 10 年保証

長寿命のリチウムイオン蓄電池だから、長くご使用いただけます。
10 年間の保証付きで、万が一のときも安心です。詳細は、保証書の内容をよくお読みください。

室内リモコン各部の名前とはたらき

室内リモコンの本体について



画面

表示画面を兼ねたタッチパネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

リセットボタン

室内リモコンのマイコンを
リセットすることができます。

電源ランプ

運転 ON 時に
点灯します。

運転ランプ

運転状態を表示します。

橙：充電	**緑**：放電
消灯：待機	**点滅**：お知らせ

● 点滅のときは、室内リモコンの画面にエラーメッセージも表示されます。「エラーメッセージが表示されたとき」（☞ 29 ページ）に従って処置してください。

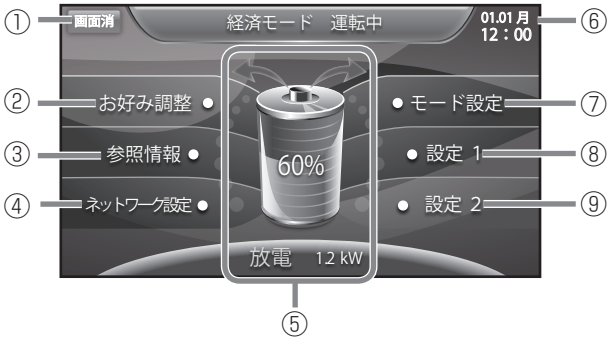
（次ページに続く）

室内リモコン各部の名前とはたらき つづき

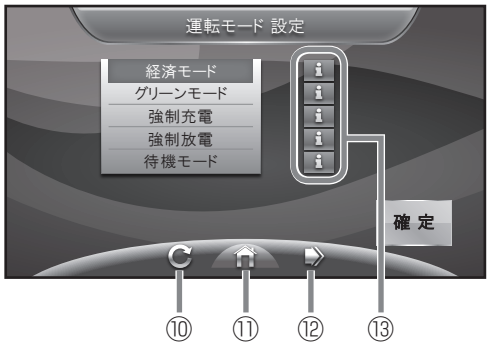
室内リモコンの表示について

本製品は、室内リモコンの画面をタッチしてさまざまな操作を行います。

■例：運転画面



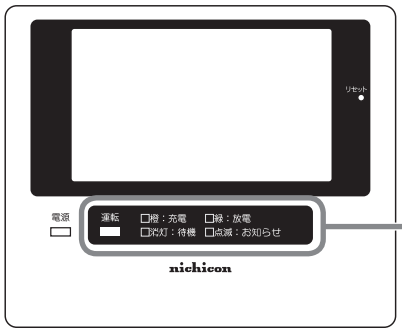
■例：モード設定画面



① **画面消**	タッチすると画面が消えます。再度画面をタッチすると表示します。
② **お好み調整**	タッチするとタッチパネルの明るさや操作音を調整する「お好み調整」画面を表示します。（☞ 21 ページ）
③ **参照情報**	タッチすると個体識別などを表示します。
④ **ネットワーク設定**	タッチするとネットワーク設定を表示します。（☞ 22 ページ）
⑤ **充放電情報**	充放電の状態および電力・蓄電池残量を表示します。
⑥ **現在日時**	タッチすると現在日時を変更する「日時設定」画面を表示します。（☞ 25 ページ）
⑦ **モード設定**	タッチすると運転モードを設定する「モード設定」画面を表示します。（☞ 16 ページ）
⑧ **設定 1**	タッチすると非常運転モードや非常時安心設定を設定する「設定 1」画面を表示します。（☞ 18 ページ）
⑨ **設定 2**	タッチすると蓄電システムの充放電時間を設定する「設定 2」画面を表示します。（☞ 20 ページ）
⑩	タッチすると前画面に戻ります。
⑪	タッチすると運転画面に戻ります。
⑫	タッチすると次画面を表示します。（次画面がある場合のみ有効）
⑬	タッチすると機能の説明を表示します。

通常時の使い方（連系運転）

太陽電池で発電した電力または夜間に蓄電した電力を住宅用分電盤に供給します。



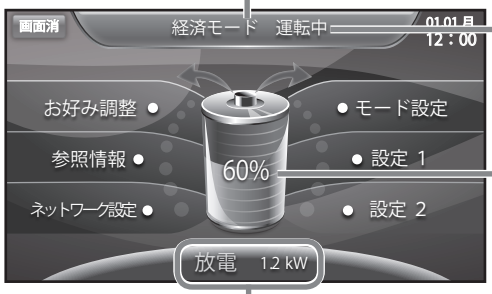
電源 ON にすると、電源ランプが点灯し、数分後に運転ランプが点灯します。

運転ランプ色	
橙：充電	**緑**：放電
消灯：待機	**点滅**：お知らせ

● 点滅のときは、室内リモコンの画面にエラーメッセージも表示されます。「エラーメッセージが表示されたとき」（☞ 29 ページ）に従って処置してください。

■ 運転画面

運転モードと動作状態



充放電電力

運転中： 充放電している状態
待機中： 充放電していない状態
停止中： エラー発生状態

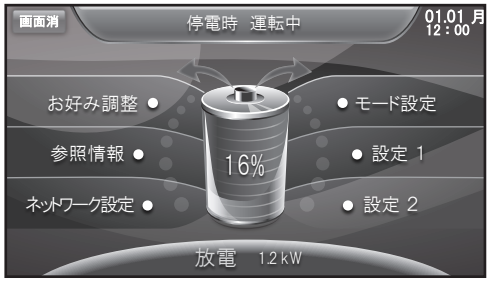
蓄電池残量

※ 蓄電池残量は、100%、0%と表示されても、しばらくすると、99%、1%のように表示が変わる場合があります。
これは、一度使い切った乾電池でもしばらくすると、少しだけ使えるように、電池の基本特性によるもので故障ではありません。また、非常時安心設定の表示も同様に表示が変わる場合があります。

※ 電力契約によっては、充電時間帯に他の家電製品（電気温水器、床暖房等）を多く使っている場合、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。
その場合は、電力契約の見直し等についてサービスセンターにご連絡ください。

停電時の使い方（自立運転）

● 停電が発生した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。
● 太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
停電時の室内リモコンの表示は下図のようになります。



※ 停電時の動作中に太陽光パワーコンディショナに「E0」あるいは「STOP」のエラーを表示する場合があります。その場合は、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を再度自立運転に切り替えてください。

停電時の家電製品の利用について

■ 非常時兼用コンセントの定格出力は、1500VA（目安：1500W）です
電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、非常時兼用コンセントに定格（1500VA）を超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電をストップします。
下記の家電製品の非常時兼用コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

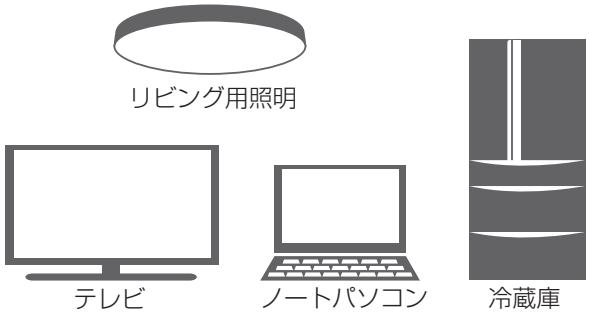
途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、IH クッキングヒーター等

- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、非常時兼用コンセントの定格を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らして、システムを再起動させてください。

■ 下記の家電製品を最大 12 時間利用可能（※）です

接続家電製品例
- 冷蔵庫：120W
- 液晶テレビ：170W
- リビング用 LED シーリング照明：100W
- ノートパソコン、ルーター等：30W
- 携帯電話充電（2 台）：10W

合計：約 430W
※おおよその目安です。実際のご使用では、
蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。



復電時の操作

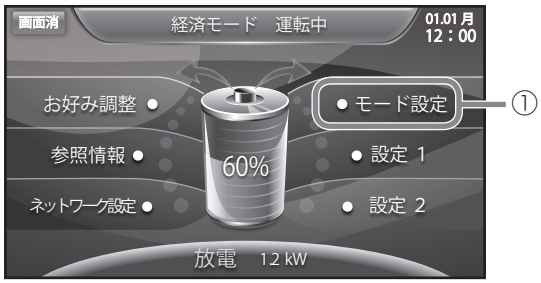
- 停電後復電した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。
- 太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を連系（通常）運転に切り替えてください。
- 電力会社との協議で定められた時間内（最大５分）は、復電しても停電時の動作になります。
  復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、蓄電システムは通常時のモードで動作します。

運転モードを選ぶ

通常時の運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。

●工場出荷時は [経済モード] です。

① **「モード設定」画面に切り替える**
[モード設定] をタッチします。



② **モードを変更する**
設定したいモードをタッチします。

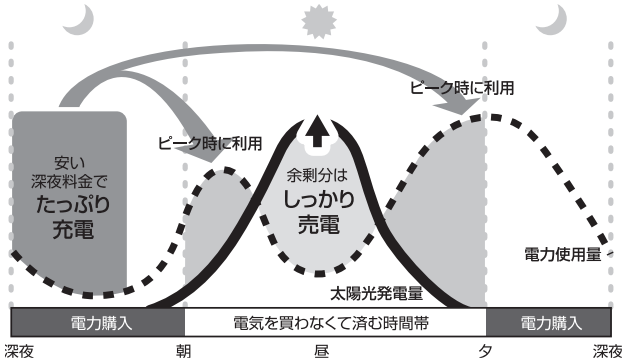
③ **変更したモードを保存する**
[確定] をタッチします。

設定

■経済モード：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を電気料金が割高な昼間の時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯には、売電中は蓄電池から放電は行わず、買電中のみ同じ電力を放電します。（押上げなし）

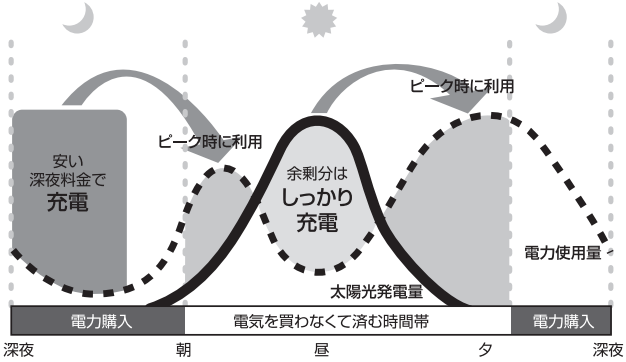
※設定した充放電時間（☞ 20 ページ）



■グリーンモード：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を電気料金が割高な昼間の時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽光により発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。

※蓄電池残量が 100% の時は、余剰電力を売電します。



※「グリーンモード」から「経済モード」に変更する場合は、深夜時間帯に蓄電池の充電が十分にできるよう、充電時間帯を設定してください。（☞ 20 ページ）

例）２３：３０～０６：５９

■強制充電：

時間帯に関係なく、蓄電池への充電のみを行い、家庭内負荷への電力供給（放電）を行わない設定です。蓄電池がフル充電状態になり次第、充電動作を終了します。動作終了後は待機状態になります。

■強制放電：

時間帯に関係なく、蓄電池から家庭内負荷への電力供給（放電）のみを行い、蓄電池への充電を行わない設定です。充電量がなくなり次第、放電を終了します。動作終了後は待機状態になります。

※売電中は蓄電池から放電は行われません。

■待機モード：

時間帯に関係なく、充放電を行わないモードです。充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

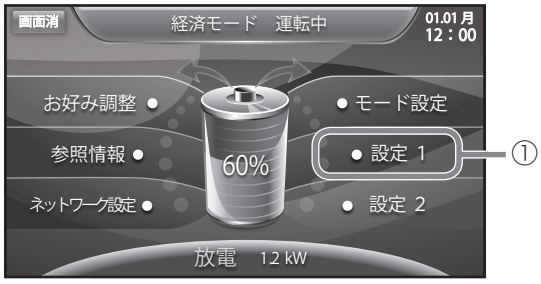
※長期間「強制放電」、「待機モード」で放置されると、蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。
長期間「強制放電」、「待機モード」に設定しないでください。

非常時（停電時）の設定をする

もしも停電になったときのために、非常運転モード設定や非常時安心設定をお客様のお好みに合わせて選択してください。

●工場出荷時は「非常運転モード」は [自動給電切換設定] です。
「非常時安心設定」は [OFF] です。

① **「設定 1」画面に切り替える**
[設定 1] をタッチします。



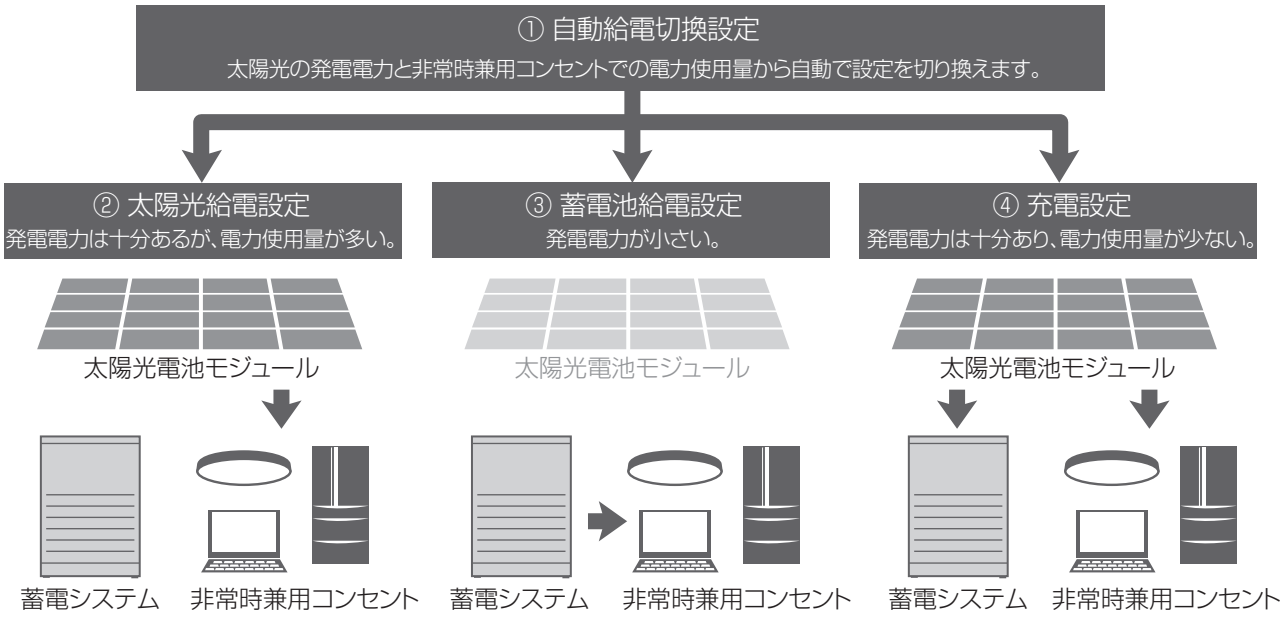
② **設定を変更する**
設定したい項目をタッチします。

③ **変更した設定を保存する**
[確定] をタッチします。

非常運転モード	次ページをご覧ください。
非常時安心設定	停電時に蓄電システムから非常時兼用コンセントへの給電をできるように、通常時の利用を指定蓄電池残量までに制限する設定です。指定蓄電池残量を下回ると給電を停止します。 指定蓄電池残量は 30、40、50、60、70% です。蓄電池残量が設定値＋ 5% 以下の場合、誤作動防止のため、給電を開始しません。

非常運転モードについて

注：太陽光パワーコンディショナは、自動で自立出力の ON、OFF を行いません。
太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、停電直後、復電直後は操作してください。

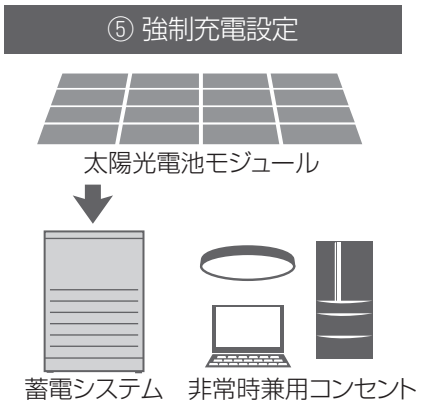


① 自動給電切換設定は、太陽光給電設定、蓄電池給電設定、充電設定を太陽光の発電電力と負荷電力を判断しながら自動で切り換えます。最も利用しやすい設定です。

② 太陽光給電設定は、太陽光から非常時兼用コンセントに給電を行います。
蓄電システムから非常時兼用コンセントへの給電、太陽光から蓄電システムへの充電は行いません。太陽光の発電電力が小さい場合、家電製品を稼働できない場合があります。

③ 蓄電池給電設定は、蓄電システムから非常時兼用コンセントに給電を行います。
太陽光から蓄電システムへの充電、非常時兼用コンセントへの給電は行いません。

④ 充電設定は、太陽光から非常時兼用コンセントへの給電、蓄電システムへの充電を行います。非常時兼用コンセントでの消費電力が大きいと、充電できない場合があります。太陽光の発電電力が小さい場合、非常時兼用コンセントへの給電、蓄電システムへの充電ともできない場合があります。



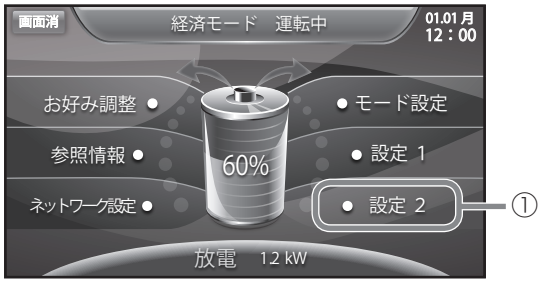
⑤ 強制充電設定は、太陽光から蓄電システムへの充電のみ行います。非常時兼用コンセントへの給電は一切行われません。

充放電時間を設定する

通常時動作モードの充電開始 / 停止時刻、放電開始 / 停止時刻をお客様のお好みに合わせて設定してください。

●工場出荷時は「充電開始 / 停止時刻」は 23:30 ～ 6:59 です。
「放電開始 / 停止時刻」は 10:00 ～ 22:59 です。

① **「設定 2」画面に切り替える**
[設定 2] をタッチします。



② **設定を変更する**
設定したい項目の時刻をタッチします。

③ **時刻を設定する**
数字をタッチすると、新しい時刻が入力されます。
←／→をタッチすると、カーソルが移動します。

④ **変更した時刻を保存する**
[確定] をタッチします。

充電開始時刻 **停止時刻**	蓄電池に充電するときの、開始 / 停止時刻を設定できます。深夜時間帯がお得です。 ●充放電の時間帯が重複しないように設定してください。また、開始 / 停止時刻が同じにならないようにしてください。
放電開始時刻 **停止時刻**	蓄電池から電力供給するときの、開始 / 停止時刻を設定できます。深夜時間帯以外がお得です。 ●充放電の時間帯が重複しないように設定してください。また、開始 / 停止時刻が同じにならないようにしてください。

※ 周囲温度が低い場合、蓄電池の特性上充電可能量が減少し、100%にならない場合がありますが故障ではありません。

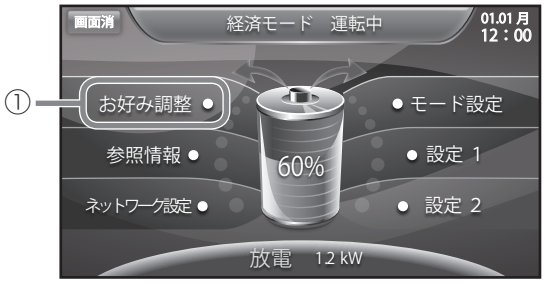
※ 充電開始時刻を 23:30 より遅らせる、あるいは、充電停止時刻を 6:59 より前に設定すると、充電時間が不足し、100%充電にならない場合があります。

室内リモコンのタッチパネルや操作音の設定を変える

タッチパネルの画面の明るさや画面操作音などを、お客様のお好みに合わせて調整してください。

●工場出荷時は「画面消時間（分）」は [5] です。
「操作音」は [ON] です。
「画面明るさ」は [5] です。

① **「お好み調整」画面に切り替える**
[お好み調整] をタッチします。



② **設定を変更する**
設定したい項目をタッチします。

画面消時間（分）	タッチパネルを操作していない場合に、画面が消灯するまでの時間を設定できます。 ▲／▼をタッチして、時間（分）を変更します。
操作音	画面操作音を ON/OFF 設定できます。 ON ／ OFF をタッチして、操作音の有無を変更します。
画面明るさ	タッチパネルが見づらいと感じたとき、お部屋の明るさに合わせて、タッチパネルの明るさを 10 段階で設定できます。 ☾／☀をタッチして、数値を変更します。数値が大きいほど、明るくなります。

ネットワークの設定をする

見守りサーバーを利用する場合、インターネットに接続するため、IP アドレスおよび DNS サーバーの設定をしてください。
ネットワークの環境がない状態でネットワーク設定を有効にした場合、ネットワークの環境はあるが IP アドレス等設定が間違っている場合、点検コード「BC551」が表示します。その場合、ネットワークの設定を見直してください。

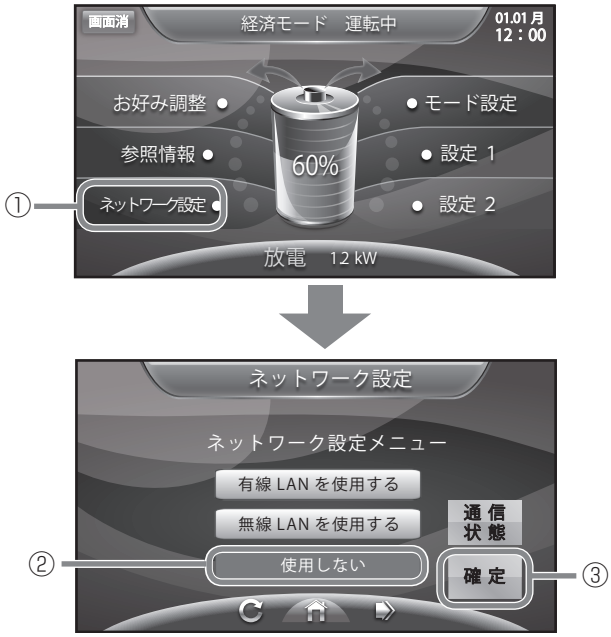
- 出荷時はネットワークの設定が、「使用しない」になっています。
- 設定途中で [確定] をタッチすると、リモコンが再起動してメイン画面に戻ります。
  一連の設定を完了後、[確定] をタッチしてください。
- 無線 LAN を利用する際には、サイズが縦横 25mm 以内、厚みが 10mm 以内のもので、Linux に対応した USB 接続の無線 LAN アダプターが必要になります。

■ **ネットワークを使用しない場合**

① **「ネットワーク設定」画面に切り替える**
[ネットワーク設定] をタッチします。

② **ネットワークを [使用しない] を選択する**
[使用しない] をタッチします。

③ **設定を確定する**
[確定] をタッチします。
リモコンが再起動します。



■ ネットワークを使用する場合（有線）

① **「ネットワーク設定」画面に切り替える**
[ネットワーク設定] をタッチします。

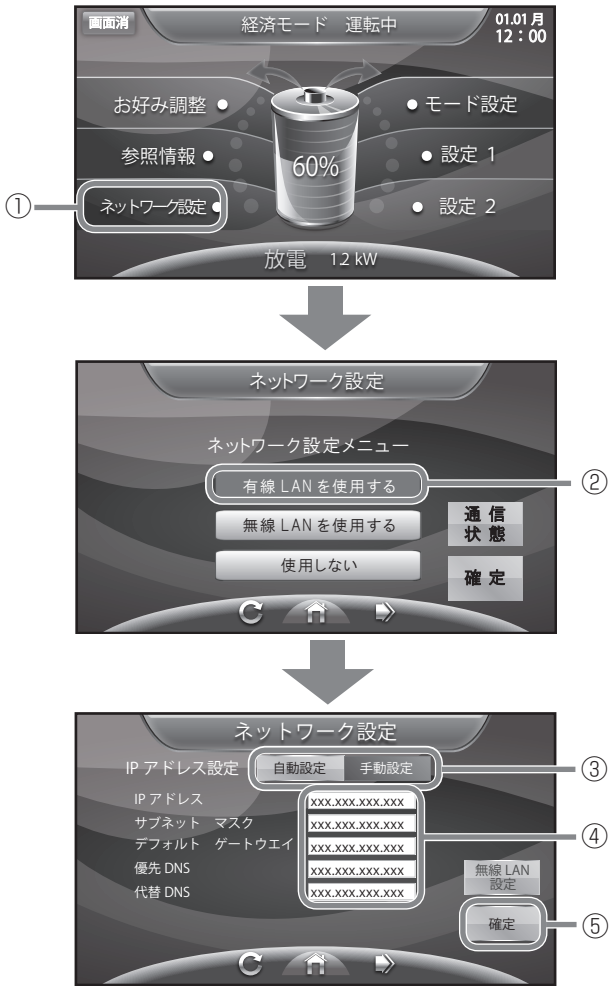
② **有線ネットワークの設定画面に切り替える**
[有線 LAN を使用する] をタッチします。

③ **IP アドレスの設定方法を選択する**
[自動設定]、[手動設定] を選びタッチします。

- [自動設定] を選んだ場合は手順⑤の操作を行ってください。
- [手動設定] を選んだ場合は手順④⑤の操作を行ってください。

④ **各項目を入力する**
各項目の箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。

⑤ **設定を確定する**
[確定] をタッチします。
リモコンが再起動します。



（次ページに続く）

ネットワークの設定をする つづき

■ ネットワークを使用する場合（無線）

① **「ネットワーク設定」画面に切り替える**
[ネットワーク設定] をタッチします。

② **無線ネットワークの設定画面に切り替える**
[無線 LAN を使用する] をタッチします。

③ **IP アドレスの設定方法を選択する**
[自動設定]、[手動設定] を選びタッチします。

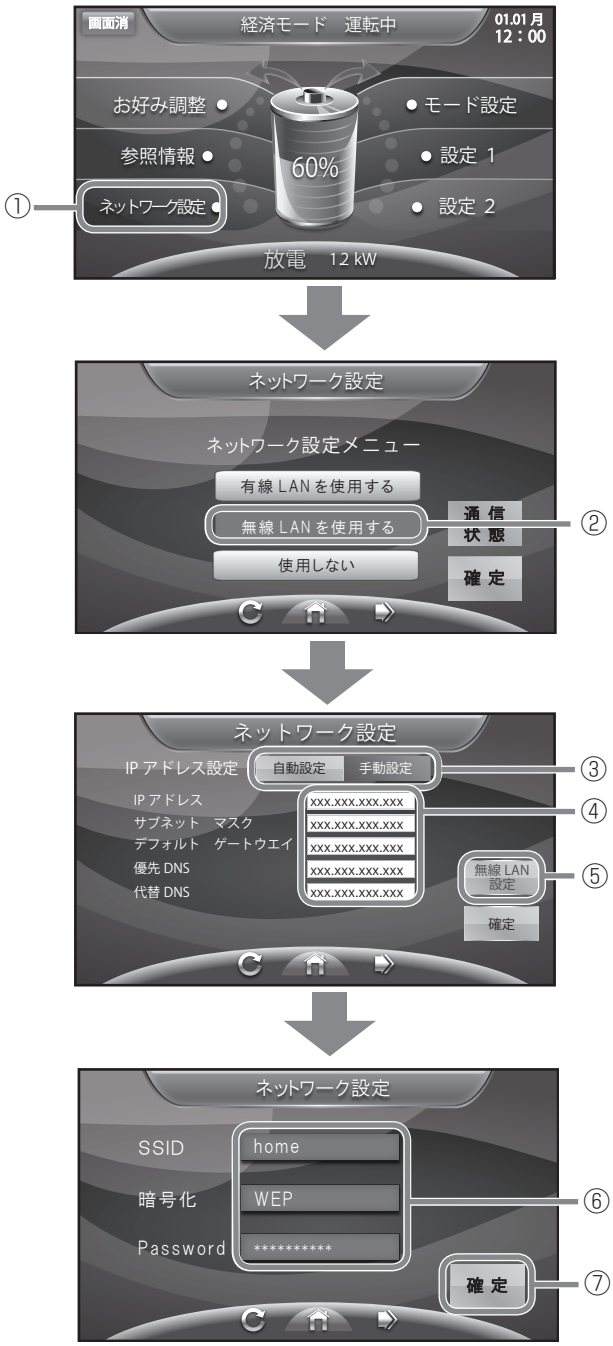
- [自動設定] を選んだ場合は手順⑤の操作を行ってください。
- [手動設定] を選んだ場合は手順④⑤の操作を行ってください。

④ **各項目を入力する**
各項目の箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。

⑤ **無線 LAN の設定画面に切り替える**
[無線 LAN 設定] をタッチします。

⑥ **各項目を入力する**
各項目の箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。

⑦ **設定を確定する**
[確定] をタッチします。
リモコンが再起動します。



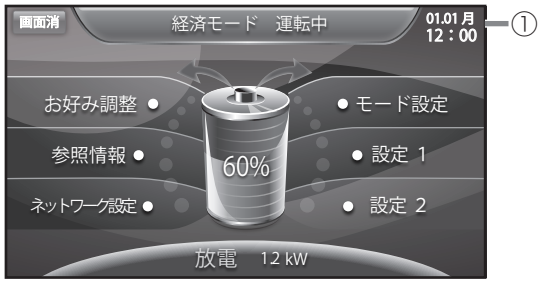
● ネットワーク設定に関してご不明な点がございましたら、サービスセンター（☞ 33 ページ）にご連絡ください。

設定

日時の設定

現在日時の設定ができます。

① **「日時設定」画面に切り替える**
[現在日時] をタッチします。



② **日時を変更する**
変更したい日時をタッチします。

③ **日時を設定する**
数字をタッチすると、日時が入力されます。
←／→をタッチすると、カーソルが移動します。

④ **変更を確定する**
[Enter] をタッチします。

● 現在時刻は長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧め致します。現在時刻に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の問題が発生することがあります。

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って、処置してください。

点検コード「BC551」、「BC562」は、ネットワーク通信に関する点検コードです。
ご家庭のネットワーク配線変更、ルーター設定変更等を行われた時に表示される場合があります。この点検コードが繰り返し表示される場合は、室内リモコンのリセット（☞ 31 ページ）をお願いいたします。なお、本点検コードはネットワーク通信の異常をお知らせするものであり、蓄電システムの基本動作への影響はございません。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジィージィー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 （運転開始時と、停止時に発生します）
ブーン音	ファンの音です。

●運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

60A までのアンペアブレーカが設置されているご家庭で、アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合、サービスセンターへご連絡ください。

アンペアブレーカの容量を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、サービスセンターへご連絡ください。

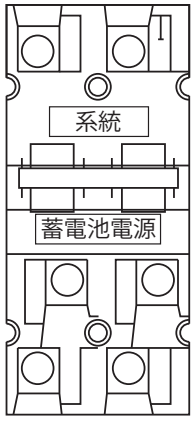
蓄電システムが停止した（停止させる）場合

① 分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
分電盤内に「蓄電システム」のシールが貼ってあります。

② 分電盤内あるいは横の非常時兼用コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。

※ 蓄電システムが停止すると、非常時兼用コンセントへは給電されません。必ず、「系統」側への切り替えを行ってください。

※ 故障時以外は、契約ブレーカ、蓄電池専用漏電ブレーカを「OFF」にしないでください。蓄電池専用漏電ブレーカ、契約ブレーカを「OFF」の状態で、２週間を超えて放置されると、蓄電池残量が減り、過放電となるため、蓄電池が使用できなくなる可能性があります。



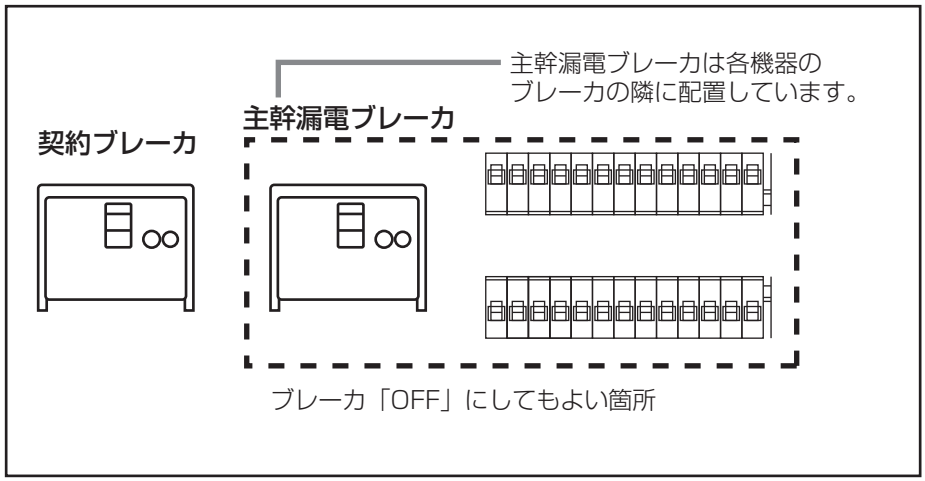
切替スイッチ

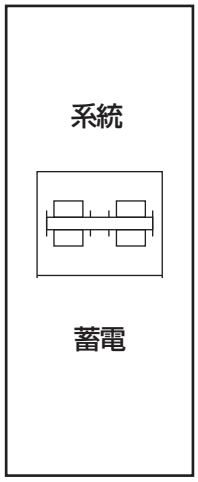
スイッチを上にあげて、「系統」側に切り替える。

長期不在の場合

- 長期不在にする場合は、運転モードを「経済モード」、「グリーンモード」、「強制充電」のいずれかに設定し（16 ページ）、蓄電システム用ブレーカ、契約ブレーカは「ON」の状態にしてください。
  ※ 非常時兼用コンセントに接続されている家電製品を含め、家電製品に電気を供給したくない場合は、分電盤内の「主幹漏電ブレーカ」を「OFF」、切替スイッチを「系統」にしてください。
- 蓄電システム用ブレーカ、契約ブレーカを「OFF」にする場合は、２週間以内としてください。
  ※ 蓄電システム用ブレーカ、契約ブレーカを「OFF」の状態で、２週間を超えて放置されると、蓄電池残量が減り、過放電となるため、蓄電池が使用できなくなる可能性があります。

分電盤、ブレーカの配置例





風水害または地震時の対応

風水害時に水没の恐れがあるときは、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、あらかじめ運転を止めてください。
また、水没した場合には、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、運転を止めた状態でサービスセンターまでご連絡ください。
地震の場合は、被害状況に応じて、サービスセンターまでご連絡ください。
※蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず、非常時兼用コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。

こんなときは つづき

室内リモコンの画面が表示されない場合

● 停電状態以外で、室内リモコン画面が表示されない場合は、室内リモコンのリセット（☞ 31 ページ）をお願いいたします。室内リモコンをリセットしても室内リモコン画面が表示されない場合は、サービスセンターにご連絡ください。
● 停電状態で、室内リモコン画面が表示されない場合は、蓄電池残量がない場合も考えられます。「停電時に蓄電池残量がない場合」の処置を行っても室内リモコンが表示されない場合は、サービスセンターにご連絡ください。

停電時に蓄電池残量がない場合

● 停電時に蓄電池残量がない場合には、蓄電システムが停止します。その場合、室内リモコン画面は真っ暗になり、画面をタッチしても何も表示されません。

停電状態で、室内リモコンの電源が入っていない場合は、下記の操作を行ってください。

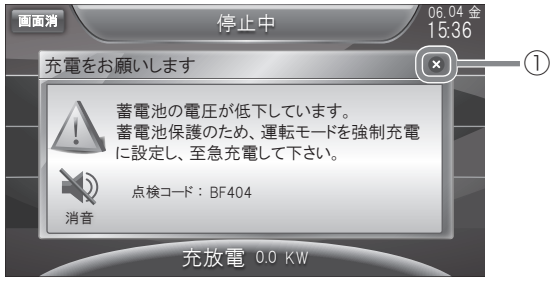
太陽光発電の自立運転が可能な場合の充電方法

「停電時の使い方」（☞ 14 ページ）と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、室内リモコンの電源が入ります。

1. 太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
2. 電力が太陽光から供給されると、室内リモコンが操作できるようになりますが、下記のメッセージが表示されるので、①の [×] ボタンをタッチして、メッセージを閉じてください。
3. 設定 1 の非常運転モードを「自動給電設定」或いは「強制充電設定」にしてください。

※「強制充電設定」の間は、非常時兼用コンセントには一切電気が供給されませんが、蓄電池残量がゼロのため、蓄電池残量が１００%になるまで、可能な限り「強制充電設定」を選択してください。

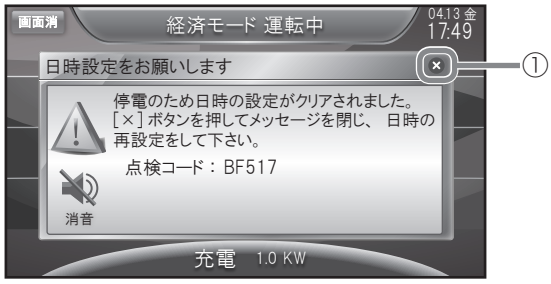
※ 室内リモコン上にエラーメッセージが表示された場合には、29 ページの処置に従ってください。



太陽光発電の自立運転が可能でない場合の充電方法

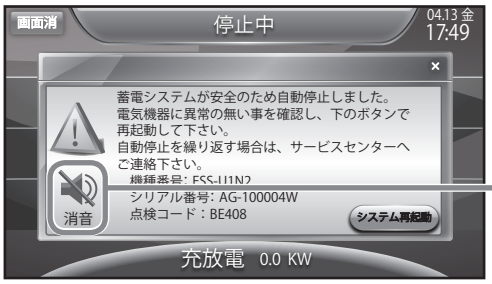
停電の復旧後、下記の操作を行ってください。

・ 停電状態から復電し、上記の画面が表示された場合には、下記の操作を行ってください。
  1. ①の [×] ボタンをタッチして、メッセージを閉じてください。
  2.「運転モードを選ぶ」（16 ページ）に従い、「強制充電」を選択し、蓄電池残量が１００%になるまで、充電を行ってください。「強制充電」を設定しない場合でも、「経済モード」、「グリーンモード」が設定されていれば、充電時間帯に自動で充電を行います。
・ 停電状態から復電し、下記の画面が表示された場合には、メッセージに従って、現在時刻を設定してください。
  1. 日時設定の画面に切り替える
     ① [×] ボタンをタッチしてメッセージを閉じてください。
  2.「日時の設定」（25 ページ）に従い、日時の設定を行ってください。



エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、本製品の故障が考えられます。次の表に従って処置してください。サービスセンターに連絡して頂く際には、画面に表示される機種番号、シリアル番号、点検コードもご連絡ください。



※ エラーメッセージが表示されると毎回エラー音が出ます。エラーメッセージの消音ボタンをタッチすると、その都度エラー音を消すことができます。

■ エラーメッセージの内容と処置

エラーメッセージ	処 置
充放電の時間帯が重なっているか、充放電の開始と終了が同時刻です。 時間帯の重複が無い様に再設定して下さい。	時間帯の重複がないように再設定してください。 (☞ 20 ページ)
蓄電システムが安全のため自動停止しました。 最寄のサービスセンターへご連絡下さい。	サービスセンターへご連絡ください。 分電盤あるいは横にある切替スイッチを「系統」にしてください。 (☞ 33 ページ)
蓄電システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンで再起動して下さい。 自動停止を繰り返す場合は、サービスセンターへご連絡下さい。	サービスセンターへご連絡ください。 (☞ 33 ページ)
非常時兼用コンセント / スイッチの接続機器が規定電力を超えたため、給電を停止しました。 接続機器を減らした後、下のボタンを押して蓄電システムを再起動して下さい。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けて下さい。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は最寄のサービスセンターへご連絡下さい。	サービスセンターへご連絡ください。 (☞ 33 ページ)
停電のため日時の設定がクリアされました。 [×] ボタンを押してメッセージを閉じ、日時の再設定をして下さい。	メッセージに従い、日時設定を行ってください。
蓄電システムの確認が必要です。 繰り返しメッセージが出る場合は、最寄のサービスセンターへご連絡下さい。	サービスセンターへご連絡ください。 (☞ 33 ページ)

（次ページに続く）

エラーメッセージが表示されたとき つづき

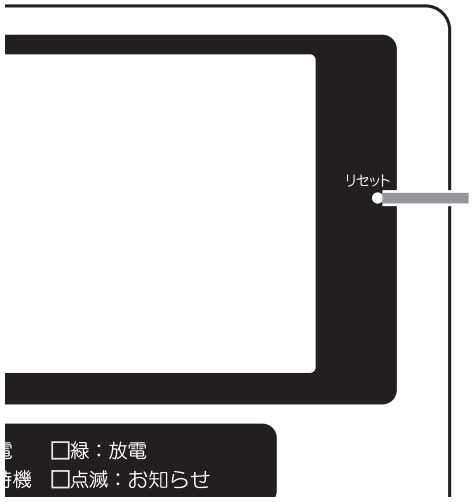
■ エラーメッセージの内容と処置（続き）

エラーメッセージ	処 置
蓄電システムの点検が必要です。 最寄のサービスセンターへお早めにご連絡下さい。	サービスセンターへご連絡ください。 (☞ 33 ページ)
前回の点検から１年経過しました。 蓄電システム吸排気口周辺の清掃とフィルタの点検および清掃をお願いします。	蓄電システム吸排気口周辺の清掃とフィルターの点検・洗浄をお願いします。(☞ 32 ページ)

● 停電時或いは、復電時に下記のメッセージが表示された時には、「停電時に蓄電池残量がない場合」(28 ページ) に従い、充電を行ってください。
「蓄電池の電圧が低下しています。蓄電池保護のため、運転モードを強制充電に設定し、至急充電して下さい。　点検コード BF404」

室内リモコンのリセット

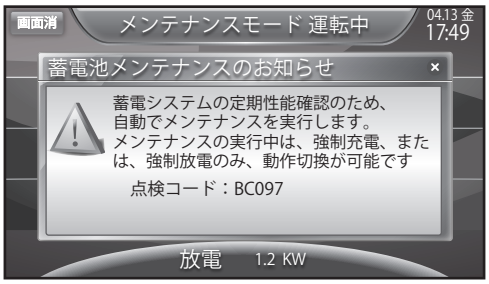
- 室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。室内リモコンが動かなくなったときに行ってください。
- リセットボタンを 10 秒程度長押しすると、室内リモコンが再起動します。起動には数秒かかります。



蓄電池のメンテナンスモードについて

蓄電システムは、蓄電池の正確な充電可能容量の確認をするために、春（3 月もしくは 4 月）と秋（9 月もしくは 10 月）の年 2 回、自動でメンテナンスモードを実行します。

メンテナンスモード運転時には、室内リモコンに次の画面が表示されます。



＜実施日＞シリアル番号の末尾数字によって、実施日が異なります。

シリアル番号末尾数字	春の実施日	秋の実施日
1	3月1日	9月1日
3	3月3日	9月3日
5	3月5日	9月5日
7	3月7日	9月7日
9	3月9日	9月9日
2	4月2日	10月2日
4	4月4日	10月4日
6	4月6日	10月6日
8	4月8日	10月8日
0	4月10日	10月10日

※ シリアル番号は室内リモコンの運転画面の「参照情報」をタッチすると表示されます。（☞ 12ページ）

メンテナンスモードは、設定されている運転モードと異なる動作をします。
設定されている充電開始時刻より充電を行い、充電完了後すぐに、放電を開始します。蓄電池残量 0% になるとメンテナンスモードは終了し、自動で設定されている運転モードに戻ります。

※ メンテナンスモード実行中も、普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。
※ メンテナンスモード中は、グリーンモードに設定している場合も経済モードで動作します。
※ 蓄電池残量 0% になるまで放電を行う為、1 日でメンテナンスモードが終了しない場合があります。
※ メンテナンスモード実行中に、強制放電・強制充電に運転モードを変更した場合は、メンテナンスモードはキャンセルされます。
※ メンテナンスモードが 2 回キャンセルされると、半年後の実行となります。
※ メンテナンスモード終了後に右のメッセージが室内リモコンに表示された場合には、蓄電池の点検が必要になりますので、サービスセンターへご連絡ください。

点検とお手入れ

■ フィルターの掃除

蓄電システムのフィルターを定期的に掃除してください。また、紛失、破損した場合にはサービスセンターまでご連絡いただき、新品を購入し交換してください。

1. 蓄電システム下側のフィルターカバーをつまみネジを 4 本外して取り外し、中のフィルターを取り外す（左右 1 枚ずつ）

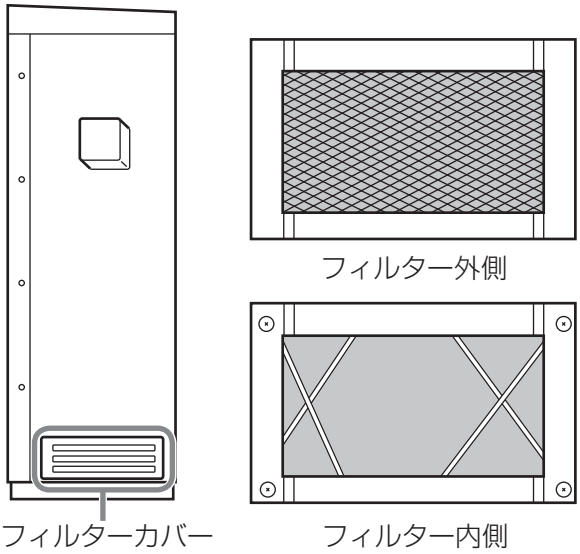
● フィルターカバーは完全に取り外してください。

2. フィルターの外側から掃除機を利用するなどして、ごみを取り除く

● フィルター内側は擦らないでください。
フィルターが劣化或いは破れてしまいます。

3. 汚れがひどい場合には、フィルター内側からホースで水を噴射して汚れを落としてください。
4. 掃除済みフィルターを蓄電システムに取り付け、その上からフィルターカバーを取り付けてください。

● 掃除時に水を利用した場合には、よく水気を切ってください。
● 取り付け時には、フィルターの外側と内側を間違えないようにしてください。



※ ESS-U1N2 のイラストで記載しています。

補助金に関するご注意

購入時に補助金の交付を受けた方

● 設置時から６年間の使用が義務付けられています

補助金の支給を受けて本製品を購入した場合、設置時から法定耐用年数の６年間は、本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から６年以内に修理が必要になった場合は、サービスセンター（☞ 33 ページ）にご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。
保証書は、弊社または販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。
注：上記の記載がない場合には無効となることがあります。

アフターサービスについて

● ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、下記のメーカーサービスセンターにお問い合わせください。

● 修理を依頼されるとき

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- 設置日
- 装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

● 補修用性能部品の最低保有期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後 10 年です。

● 移設等で機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社　サービスセンター 電話：　03-5212-9211 ファックス：03-5211-2153 年中無休、24 時間受付可能
製品の使用方法等に関するお問合せ先	ニチコン株式会社　お客様窓口 電話：　0120-215-086 メール：　info-ess@nichicon.com 平日：9 ～ 17 時、土日祝日休業日は除く

仕様

型番		ESS-U1N2 ESS-UA1N2(ESS-U1N2+ESS-A1N2)	ESS-U1N3 ESS-UA1N3(ESS-U1N3+ESS-A1N3)
外形寸法		W900 × H1250 × D345mm(ESS-U1N2) 右側面プルボックスを除く W900 × H1250 × D345mm(ESS-A1N2) 左側面プルボックスを除く	W900 × H1250 × D345mm(ESS-U1N3) 右側面プルボックスを除く W900 × H1250 × D345mm(ESS-A1N3) 左側面プルボックスを除く
		W170 × H140 × D20.8mm（室内リモコン）	←同左
質量		200kg(ESS-U1N2) 185kg(ESS-A1N2) 増設システム時合計 385kg(ESS-UA1N2)	202kg(ESS-U1N3) 187kg(ESS-A1N3) 増設システム時合計 389kg(ESS-UA1N3)
		380g（室内リモコン）	←同左
蓄電池	種類	リチウムイオン蓄電池	←同左
	構成	1 モジュール当り８直列１並列、全６モジュール直列 (ESS-U1N2) 1 モジュール当り８直列１並列、全６モジュール直列 (ESS-A1N2) システム２並列構成 (ESS-UA1N2)	1 モジュール当り８直列１並列、全６モジュール直列 (ESS-U1N3) 1 モジュール当り８直列１並列、全６モジュール直列 (ESS-A1N3) システム２並列構成 (ESS-UA1N3)
	定格電圧	DC180.0V （入力電圧範囲：DC129.6V ～ DC197.8V）	←同左
	蓄電池容量	7.2kWh(ESS-U1N2) 7.2kWh(ESS-A1N2) 増設システム時合計 14.4kWh(ESS-UA1N2) 搭載された蓄電池の総容量　（注１）（注２）	7.2kWh(ESS-U1N3) 7.2kWh(ESS-A1N3) 増設システム時合計 14.4kWh(ESS-UA1N3) 搭載された蓄電池の総容量　（注１）（注２）
系統連系運転時定格	定格出力	2.5kW ± 5%	←同左
	定格出力電圧	AC202V（単相２線式､ただし接続は単相３線式）	
	出力電圧範囲	AC202V ± 20V	
	定格周波数	50 または 60Hz	
	パワーコンディショナ単体定格時電力変換効率	放電時電力変換効率：94.0% （温度 25 ± 2℃、蓄電池定格電圧時）	
		充電時電力変換効率：94.0% （温度 25 ± 2℃、蓄電池定格電圧時）	
	出力基本波力率	約 1（定格出力時）	
	出力電流歪率	総合電流歪率 5%、 各次電流歪率 3% 以下（定格出力時）	
	不要輻射	VCCI クラス B 準拠	
蓄電システム自立出力定格	最大出力	1.5kVA ± 5%	
	出力電流	最大 15A	
	出力電気方式	単相 2 線式	
	定格出力周波数	50 または 60Hz	
	出力周波数精度	定格周波数に対し± 1% 以内 （温度 25 ± 2℃）	
主回路方式	インバータ変換方式	連系運転時：自励式電圧型電流制御方式	
		自立運転時：自励式電圧型電圧制御方式	
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式	
	絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	
	冷却方式	強制空冷方式	

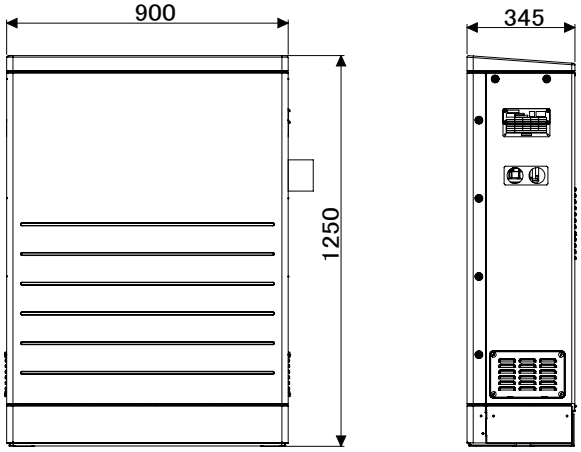
注 1）蓄電池容量（単位：kWh）は単電池（セル）の容量合計を示します。
使用開始時に実際に使用できる充放電量は、概ね蓄電池容量の約 80%が目安（※）となります。
※製品タイプにより「パワーコンディショナーの変換ロス」「耐久性向上の為の蓄電池使用量の制限」等が異なる為

注 2）蓄電池は経年劣化により容量が徐々に減少します。
但し、製品タイプや、充放電の頻度・使用環境（温度等）などにより、劣化の仕方（※）は異なります。
※例 1：毎年、ほぼ均一に減少する場合、
例 2：使用開始当初の減少は、やや大きいものの、その後は安定し減少しにくくなる場合等

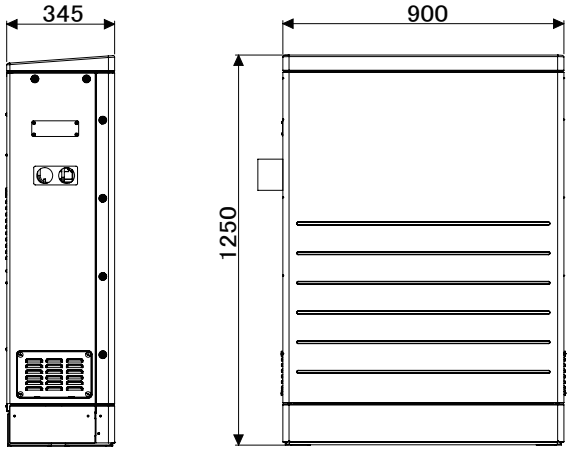
外形寸法

単位：(mm)

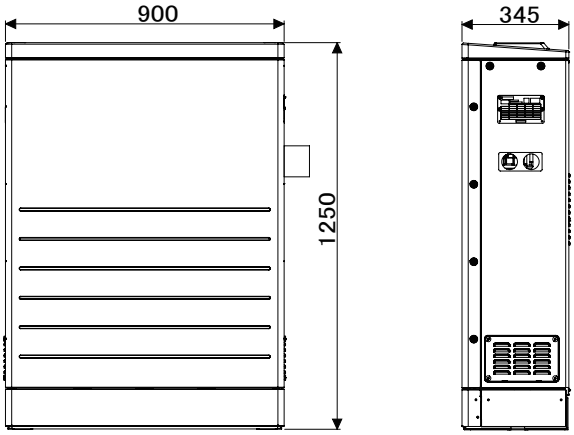
蓄電システム：ESS-U1N2



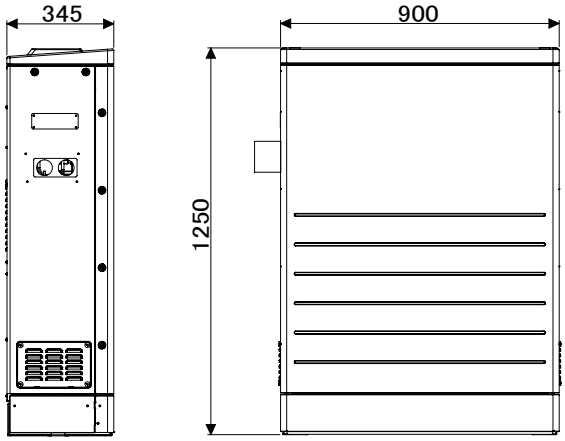
増設ユニット：ESS-A1N2



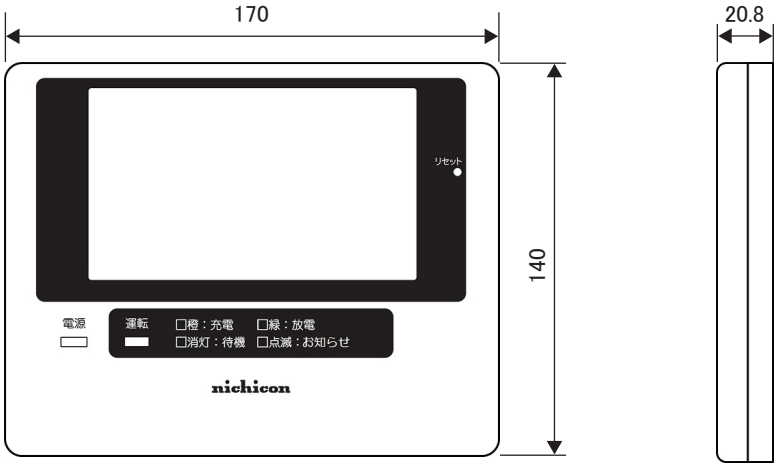
蓄電システム：ESS-U1N3



増設ユニット：ESS-A1N3



室内リモコン



室内リモコンのソフトウェアに関して

室内リモコンのソフトウェアは、改良のため予告なしに変更されることがあります。

GPL/LGPL のライセンスに関して

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。
オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。
GPL/LGPL のライセンスについては、http://www.nichicon.co.jp/products/ess/support.html をご覧ください。

nichicon
京都市中京区烏丸通御池上る　〒 604-0845
http://www.nichicon.co.jp

● この取扱説明書はリサイクルペーパーを使用しています。

LV42270-13